

2021年度海外留学支援制度（大学院学位取得型）

申請の手引き～記入例・Q&A～

目次

| | |
|--------------------------------|----|
| 0. 全体の概要 | 2 |
| 【大学取りまとめ応募と個人応募】 | 2 |
| 【全体の流れ】 | 2 |
| 【応募書類作成・提出図解】 | 3 |
| 1. 応募締切日 | 4 |
| 【注意事項】 | 4 |
| 2. 応募書類の準備 | 5 |
| 2-1. 応募者が取り寄せる主な証明書 | 5 |
| 【応募者が取り寄せるもの】 | 5 |
| 【応募者が作成を依頼し、依頼された者が提出するもの＝推薦状】 | 6 |
| 2-2. 書類作成前の確認事項【一般的なルール】 | 6 |
| 2-3. 各ファイル名と応募書類提出方法 | 7 |
| 【学位応募システムに直接WEB入力するもの】 | 7 |
| 【学位応募システムにアップロードするもの】 | 7 |
| 3. 応募書類の作成～記入（作成）例とQ&A | 9 |
| 3-1. 【様式1：願書】 | 9 |
| 【記入例】 | 9 |
| 【補足説明とQ&A】 | 11 |
| 3-2. 【様式2：留学先大学情報】 | 17 |
| 【記入例】 | 17 |
| 【別添資料の作成】 | 18 |
| 【補足説明とQ&A】 | 18 |
| 3-3. 【様式3：業績等について】 | 24 |
| 【記入例】 | 24 |
| 3-4. 【様式4：研究計画及び修了後の進路計画書】 | 25 |
| 【記入例】 | 25 |
| 3-5. 【様式5：日本社会への貢献について】 | 26 |
| 【記入例】 | 26 |
| 4. その他Q&A | 27 |

0. 全体の概要

本紙「2021年度海外留学支援制度（大学院学位取得型）申請の手引き～記入例・Q&A～」(以下、「申請の手引き」という。)では、応募書類の作成・提出方法やQ&Aなど補足説明をします。特に明記しない限り、大学取りまとめ応募も個人応募も同様の扱いとします。

「募集要項」をよく読み、「申請の手引き」の記入例やQ&Aを十分に確認しながら、不備のないように応募書類を作成し、締切日厳守で提出してください。「募集要項」の「5. 資格要件」のうち、一つでも該当しない場合は審査の対象となりませんので、注意してください。

【大学取りまとめ応募と個人応募】

大学取りまとめ応募と個人応募の応募時の違いは、事前登録の方法と照会先になります。提出書類や提出方法は同じです。どちらの方が合格しやすいということもありません。

【全体の流れ】

〈大学取りまとめ応募〉

(取りまとめ大学)

事前登録
→取りまとめ大学用
マイページ発行

応募者登録

取りまとめ大学は、
10月13日(火) 13:00
までに登録してください

(応募者)

募集要項・様式・本紙(申請の手引き)など関連書類のダウンロード
※取りまとめ大学の指示に従う

取りまとめ大学に
①氏名
②Eメールアドレスを申告し
応募の意志を伝える

選考管理番号受取 + 応募者用マイページ発行

応募書類準備・提出

- 1) 応募書類作成
 - ・WEB入力
 - ・WORD作成
 - ・PDF作成
 - ・顔写真データJPEG作成
- ↓
- 2) 応募書類提出
 - ・システム

※推薦者に推薦状依頼(選考管理番号を伝える)

書面審査

※締切日までに提出されない書類がある場合は書面審査不可

面接審査

※書面審査合格者のみ

〈個人応募〉

募集要項・様式・本紙(申請の手引き)など関連書類のダウンロード

事前登録
↓
選考管理番号受取 + 応募者用マイページ発行

※事前登録後、取りまとめ大学用マイページや応募者用マイページ発行までにそれぞれ2営業日程度要することがあります。

【応募書類作成・提出図解】

1-1. 応募者必要ファイルを準備

(1) Excel ファイル(下書き)

様式1、様式2-1～様式2-2

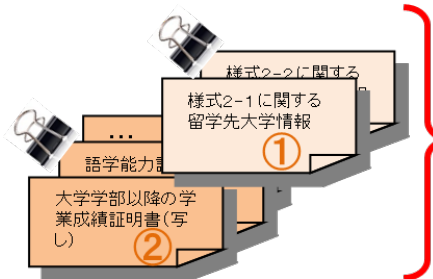
(2) JPEGファイル

顔写真

(3) Wordファイル

様式3、様式4、様式5

(4) 紙媒体書類一式



順番に並べ①と②をPDF化

2-1. 応募者による学位応募システムでのWEB入力・アップロード提出

(1) WEB入力

様式1、様式2-1～様式2-2

(2) JPEGファイルアップロード

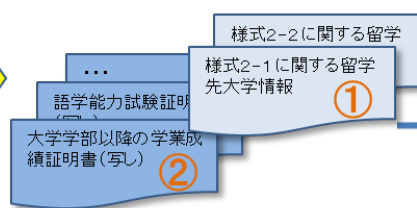
顔写真

(3) Wordファイルアップロード

・Word 1ファイル: OOOO_2021_02. docx
様式3、様式4、様式5

(4) 紙媒体書類一式

- ① PDF1 ファイル目: OOOO_2021_01. pdf
- ② PDF 2ファイル目: OOOO_2021_03. pdf



(1) 確定版保存

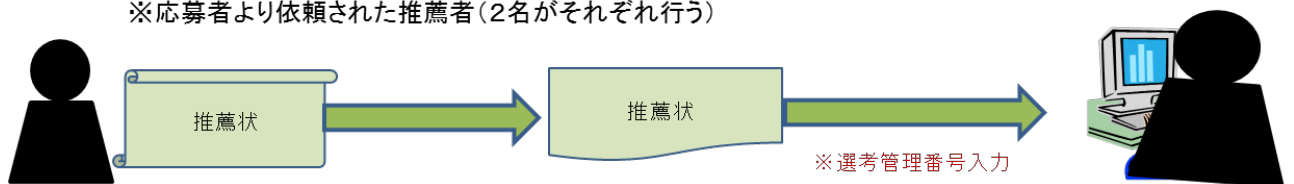
様式1、様式2-1～様式2-2



1-2. 推薦者必要ファイルを準備

2-2. 推薦者による推薦状提出用システムでのアップロード提出

※応募者より依頼された推薦者(2名がそれぞれ行う)



1. 応募締切日

～事前登録は必須です。応募者は、各締切日を厳守し、余裕をもって取り組んでください。～

| | |
|-----------------------------------|--|
| 1) 学位応募システム 事前登録期間 | 【大学取りまとめ応募の応募者】 取りまとめ大学が定める期限までに応募の意志を取りまとめ大学に必要事項と併せて伝える 【取りまとめ大学、個人応募】 2020年9月1日（火）～10月13日（火） 13:00 （日本時間） |
| 2) 学位応募システムでの 応募書類受付期間 | 2020年10月1日（木）～10月15日（木） 13:00 （日本時間） 必着 |
| ※推薦者による推薦状提出 受付期間 | 2020年9月4日（金）～10月15日（木） 13:00 （日本時間） 必着 |

※書類の受領確認のお問い合わせには、一切対応しかねます。

※いずれか一つでも提出時間を過ぎた場合、いかなる理由でも応募は受け付けません。

【注意事項】

【大学取りまとめ応募】

- 1：事前登録は、取りまとめ大学が行います。応募者はマイページ発行後、事前アンケートに回答してください。
- 2：機構が定める事前登録期間とは別に、取りまとめ大学が定める応募申請期間があります。必ず取りまとめ大学に確認してください。

【共通】

- 1：推薦状を推薦者が提出するにあたり、事前登録後に応募者に発行される「選考管理番号」が必要です。締切日に間に合うように、計画的に事前登録を取りまとめ大学に依頼【大学取りまとめ応募】又は、事前登録を行い【個人応募】、推薦者に推薦状の作成・提出を依頼してください。
- 2：提出時間直前はアクセスが集中します。アクセスの集中やインターネット環境の不具合が原因で、事前登録や学位応募システムによる応募書類の提出ができなかった場合でも、救済措置はありません。提出直前に慌てぬように、計画的に提出してください。
- 3：学位応募システムでの応募書類受付期間（**10月15日（木）13:00**）を過ぎると、応募書類や根拠書類を学位応募システム上でアップロードできません。Eメールに添付して提出するなど、指定の場所以外から申請された応募書類は受け付けませんので注意してください。
- 4：応募書類の不備、例えば欠落（不足）や記入漏れなどがある場合は、審査の対象となりません。提出する書類は必ずチェックしてください。応募書類の差し替えや訂正は認めません。

2. 応募書類の準備

～応募者の記入事項と根拠書類の記載内容が一致していないなどの疑義がある場合は、根拠書類の記載内容を優先し、審査します。不一致がないように注意深く応募書類を準備してください。～

2-1. 応募者が取り寄せる主な証明書

※各応募書類の詳細や例外は、「募集要項」の「8. 応募方法」や、「申請の手引き」の「3. 応募書類の作成～記入（作成）例とQ&A」以降を確認してください。

※★が表示されているものは、新型コロナウイルス感染症に係る募集上の配慮があります。

【応募者が取り寄せるもの】

●全員共通

| | 書類種類 | 有効期限・備考 | 枚数 | 提出方法 |
|--------|--|--|---------------|------|
| 1 | 大学学部以降の学業成績証明書（写し） | 成績評価基準（Grading System）の添付必須 | | PDF |
| 2 | 大学学部以降の卒業（修了）証明書（又は見込み証明書）（写し） | | | PDF |
| 3 | 【日本国籍を証明する書類】 パスポート（写し）又は住民票（写し） 【永住許可を証明する書類】 在留カード（両面）（写し）又は住民票（写し） | 住民票は、2020年7月15日以降に発行されたものであること | 該当の書類をいずれか1種類 | PDF |
| 4 ★ | 語学能力試験証明書（写し） ※語学運用能力証明書（様式イ）（該当者のみ） | 2年以内に受験したもの ※2018年10月15日以降に受験した結果のみ有効 | 1枚 | PDF |

●該当者のみ提出

| | 書類種類 | 有効期限・備考 | 枚数 | 提出方法 |
|---|--|--|----|------|
| 1 | 留学先大学からの入学許可書（写し） 【既に取得している者のみ】 | | | PDF |
| 2 | 同一人物であることを証明する根拠書類（戸籍抄本、住民票）と応募者による説明文書 【結婚や、姓の変更、重国籍などにより、在籍（卒業）大学等の提出書類と各種証明書における名前の表記が異なる場合のみ】 | ・マイナンバーが記載されていない書類が望ましいが、記載されている場合は、該当部分を黒く塗りつぶす（マスキングする）こと ・2020年7月15日以降に発行されたもの | | PDF |

【応募者が作成を依頼し、依頼された者が提出するもの＝推薦状】

推薦者が直接、推薦状提出用システム（以下のURL）で提出します。提出の際に、応募者ごとの「選考管理番号」を入力する箇所があるので、「選考管理番号」を正確に推薦者に伝えてください。

<https://www.saiyo-dr.jp/jasso-ryugaku/Entry/top.jsp?id=7>

2-2. 書類作成前の確認事項【全般的なルール】

日本語以外で記載された書類を提出する場合の注意

- 応募者が必ず和訳を追記（又は別添を添付）した上で、提出してください。（成績証明書は和訳不要。）

電子ファイル Word・PDF 作成上の注意

- 全てのファイルは、指定されたファイル名に変更の上、提出してください。ファイル名は、以下の例の赤字部分を、全角カタカナで応募者の姓・名に修正してください。

例：「駒場太郎」が応募する場合： **コマバタロウ_2021_01**.pdf

※赤字部分を修正してください。↑ ↑ 緑字部分は次項2-3を参照してください。

例外：ミドルネームがある場合は、ミドルネームを省略してください。

→「駒場シーサイド太郎」が応募する場合： **コマバタロウ_2021_01**.pdf

- 応募者が作成する応募書類の文字のサイズは自由ですが、審査委員が読みやすいように、10ポイント以上に設定してください。
- 全てのファイルについて、「A4判」（レターサイズでも可。以下同様。）で作成してください。A4判よりも小さなサイズの証明書等をスキャンする場合は、A4判用紙に貼付するなどして、サイズを統一するように努めてください。
- Wordファイルは、枚数や順番、形式を変更しないでください。入力後は印刷（又はPDF化）し、入力した文字や文章が全て表示されていることを確認してください。

【PDFファイル備考】

- 全ての書類が揃い不足がないことを必ず確認してください。書類の順番は、「出願書類確認表」の応募書類一覧の順にし、次項2-3のとおり、2つのファイルに分けてください。**書類の漏れ落ちを防ぐために、応募書類を全て片面印刷してから、スキャンすることを強くお勧めします。**特に、証明書の中で両面印刷されているものについては、片面だけでなく、両面ともPDF化されていることを確認してください。
- 1つの資料が複数ページにわたる場合、該当する書類の右下に通し番号を付してください。

• PDF化する方法は2種類あります。

①電子ファイルからPDFを作成する方法

②コピー機などでスキャンすることでPDFを作成する方法

→②について、コンビニエンスストアなどでPDFを作成する場合は、各コンビニエンスストアのURLを参考にしてください。

2-3. 各ファイル名と応募書類提出方法

～提出前に、「出願書類確認表」で書類が揃っていることを再度確認してください。学位応募システム（応募者用）と推薦状提出用システム（推薦者用）は異なりますので注意してください。～

【学位応募システムに直接WEB入力するもの】

| | 下書き用のファイル形式 | 応募書類名 | 備考 |
|---|--|-------------------------------------|---|
| 1 | 【EXCEL】→WEBに直接入力 学位応募システムにWEB入力するための下書きとして、エクセルファイルを使用してください。 | 様式1 様式2-1～様式2-2 参考（成績評価係数計算用） | 学位応募システム上では、途中までWEB入力したデータの下書き保存はできません。 |

【学位応募システムにアップロードするもの】

| | 提出するファイル形式・ファイル名 | 応募書類名 | ファイルサイズ容量等 |
|---|-------------------------------|--|---|
| 2 | 【JPEG】 ※ファイル名の指定なし | 顔写真 | （サイズの指定なし） |
| 3 | 【PDF①】 コマバタロウ_2021_01.pdf | 留学先大学等情報の根拠書類 （HPの写し等） | 必ず 20MB 以内 ※1校につき、最大の目安は10ページ程度 |
| 4 | 【Word】 コマバタロウ_2021_02.docx | 様式3 様式4 様式5 | 必ず 20MB 以内 ※各1ページずつ |
| 5 | 【PDF②】 コマバタロウ_2021_03.pdf | 【PDF①】以外の書類全て 代表的論文の抜粋や住民票、語学能力試験証明書、学業成績証明書等「申請の手引き」2-1でPDFと記載のある各種証明書類等 | 必ず 20MB 以内 |

【学位応募システムに直接入力して提出：上表1】

- ①事前登録時に発行されたIDと、パスワードで学位応募システムにログイン
- ②「応募申請はこちら」の「≪1≫願書入力/留学先大学情報入力フォームはこちら」について、それぞれ必要事項を回答する
- ③回答後は、「登録」をクリックして提出する
- ④学位応募システムの「受信トレイ」で「提出された」というメッセージを確認する
- ⑤メッセージの所定の箇所をクリックし、PDF形式（EXCELファイルと同じ形）の確認画面を開き入力内容を確認。PDFを応募者の控えとして保存する（原則として、入力内容に誤りがあっても修正は認められないが、10月12日（月）13時（日本時間）までに提出した分については、同メッセージに添付されている確認・修正フォームより直後であれば修正可能。）

※学位応募システム上では下書き保存はできません。下書きにはEXCELファイルを使用してください。

※本提出後は、必ずPDF化されたものを保存してください。採用後に使用することがあります。

【学位応募システムでの提出物：上表2～5のJPEG、Word、PDF】

- ①事前登録時に発行されたIDと、パスワードで学位応募システムにログイン
- ②「応募申請はこちら」の「≪2≫応募ファイル提出はこちら」から、それぞれ指定された方法で電子ファイルをアップロードする

※学位応募システムの「送信履歴」から提出内容を確認できます。

【上表1～5について、全ての書類の提出完了後】

- ①事前登録時に発行されたIDと、パスワードで学位応募システムにログイン
- ②学位応募システムの「書類提出完了申請はこちら」から、「登録」をクリックし、全ての応募書類の提出が完了したことを機構に報告する

※この作業を行わない限り、応募書類の申請は完了しませんので、注意してください。

【学位応募システム問い合わせ先】

「海外留学支援制度（学位取得型）受付センター」

〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー30階

レジェンダ・コーポレーション株式会社

E-mail : jasso-ryugaku@s-hr.jp

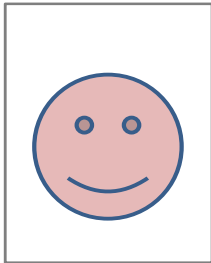
3. 応募書類の作成～記入（作成）例とQ&A

3-1. 【様式1：願書】 WEBに直接入力した後の提出確認メッセージに添付される願書のイメージ

【記入例】

| | | | | | |
|--------|-------------|----|----|----|------|
| 選考管理番号 | 12345678910 | 氏名 | 機構 | 花子 | 自然科学 |
|--------|-------------|----|----|----|------|

2021年度海外留学支援制度(大学院学位取得型)



| | | |
|------|-------|--------|
| フリガナ | キコウ | ハナコ |
| 氏名 | 機構 | 花子 |
| ローマ字 | KIKOU | HANAKO |

| | | |
|---------------------|---|----------------|
| 国籍 | 日本国籍及びその他国籍 | アメリカ合衆国 |
| 生年月日 | 1992年5月1日 | 2021年4月1日現在の年齢 |
| | | 28 歳 |
| 現住所 | 〒 123-4567 東京都江東区青海5-4-1 青海プラザ × × × | |
| 電話番号 | 03-xxxx-xxxx | 080-1234-xxxx |
| メールアドレス | kikouhanako@jasso.com | |
| 応募方法 | 大学取りまとめ応募 | 学校コード |
| | | 787878 台場大学 |
| 審査分野 | 自然科学 | 専門分野 |
| | | 電気電子工学・電気・電子 |
| 応募時の状況 | 日本国内大学院(修士又は博士前期)在籍 | |
| 応募時の所属先 | 台場大学大学院工学研究科修士課程 2年 | |
| 応募時の学位取得状況 | 学士号(取得済み), 修士号(取得見込み) | |
| 推薦者1 | 支援 華子 | 台場大学教授 |
| 推薦者2 | 駒場 かもめ | 台場大学准教授 |
| | 第一希望 | 第二希望 |
| 留学先大学における 主な使用言語 | 英語 | 英語以外 |
| | | フランス語 |
| 語学能力試験名 | IELTS (Academic Module) | DALF |
| 語学能力試験結果 | TOEFL iBT 100点以上、又は(及び)IELTS Academic Module 7.0 以上 CEFR C1レベル以上(英語以外の場合) | |
| 試験受験日 | 応募締切日から2年以内の結果を提出する | |
| 語学能力試験に関する事情欄 | | |
| 成績算出のために使 用した成績表 | 台場大学 | 修士課程(相当) |
| 成績評価パターン | パターン5(5段階評価、S、A、B、C、F) | 成績評価係数 |
| | | 2.85 |
| 成績評価に関する備考欄 | | |
| 機構奨学金の応募実績 | ①協定派遣/短期派遣に応募したことがある | |
| 採用時の個人番号 | | |
| 海外留学支援制度(学部学位取得型) | ②応募したことがない | |
| 採用時の個人番号 | | |
| 海外留学支援制度(大学院学位取得型) | ①応募したことがある | |
| 採用時の個人番号 | L1877777011 | |
| 申請中の他の奨学金 | あり | イロハ国際奨学金 |

WEBに直接入力した後の提出確認メッセージに添付される願書のイメージ

| | | | | | |
|--------|-------------|----|----|----|------|
| 選考管理番号 | 12345678910 | 氏名 | 機構 | 花子 | 自然科学 |
|--------|-------------|----|----|----|------|

高等学校卒業以降の学歴

| | | | | | | |
|------|--------|------------|------|---|---|---|
| 高等学校 | 青海高等学校 | 高等学校卒業(修了) | 2010 | 年 | 3 | 月 |
|------|--------|------------|------|---|---|---|

| | | | | | | | | | | |
|-----|-----------|------|---|---|---|---|---------|--------|---|---|
| 1校目 | 大学(学部) | | | | | | 卒業・修了 | | | |
| | 江東大学 | | | | | | 工学部電気学科 | | | |
| | 在籍(予定)期間 | 2010 | 年 | 4 | 月 | ~ | 2015 | 年 | 3 | 月 |
| | 取得済(予定)学位 | 学士号 | | | | | | 学士(工学) | | |

| | | | | | | | | | | |
|-----|------------------|------|---|---|---|---|-------|--------|---|---|
| 2校目 | 大学院(修士課程・博士前期課程) | | | | | | 在学中 | | | |
| | 台場大学 | | | | | | 工学研究科 | | | |
| | 在籍(予定)期間 | 2019 | 年 | 4 | 月 | ~ | 2021 | 年 | 3 | 月 |
| | 取得済(予定)学位 | 修士号 | | | | | | 修士(工学) | | |

| | | | | | | | | | | |
|-----------|----------|--|---|--|---|---|--|---|--|---|
| 3校目 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | 在籍(予定)期間 | | 年 | | 月 | ~ | | 年 | | 月 |
| 取得済(予定)学位 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|-----------|----------|--|---|--|---|---|--|---|--|---|
| 4校目 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | 在籍(予定)期間 | | 年 | | 月 | ~ | | 年 | | 月 |
| 取得済(予定)学位 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|-----------|----------|--|---|--|---|---|--|---|--|---|
| 5校目 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | 在籍(予定)期間 | | 年 | | 月 | ~ | | 年 | | 月 |
| 取得済(予定)学位 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|--------------------|--|------|---|---|---|---|------|---|---|---|
| 職歴 | | | | | | | | | | |
| ブルーオーシャン電機株式会社 研究員 | | 2016 | 年 | 4 | 月 | ~ | 2019 | 年 | 3 | 月 |
| | | | 年 | | 月 | ~ | | 年 | | 月 |

学歴・職歴に関する備考

| | |
|---------------|------------------------------|
| 過去の海外渡航について | ①高校以降あり |
| 他の奨学金の過去の受給状況 | ④民間団体等の奨学金 XYZ財団留学応援プログラム |

| 主な渡航実績 | 渡航目的 | 期間 | 渡航先 |
|----------|-----------------------|-------------|--------|
| 高校(1回目) | ①家族に帯同し居住 | ④6か月以上1年未満 | インドネシア |
| 高校(2回目) | | | |
| 大学(1回目) | ①大学間協定に基づいた留学(単位互換有り) | ④6か月以上1年未満 | インド |
| 大学(2回目) | | | |
| 大学院(1回目) | ①大学間協定に基づいた留学(単位互換有り) | ③3か月以上6か月未満 | スイス |
| 大学院(2回目) | | | |

～応募に際し、「募集要項」の「5. 資格要件」について、全て該当することを必ず確認してください。採否は、要件を満たした者の中で書面審査、面接審査を行い、決定します。～

【補足説明とQ&A】

● **〈過去の応募歴〉**

【Q1. 次の場合は応募できますか？】

- ①過去の応募で不合格となった場合
- ②過去に本制度に合格し、止むを得ない事情により支援期間前又は支援期間中に辞退した場合
- ③過去に「修士」の応募区分で本制度の支援を受け、「博士」の応募区分で応募したい場合

A1. 「募集要項」の「5. 資格要件」を全て満たしている場合は応募できます。

【Q2. 次の場合は応募できますか？】

A2. 応募できます。

| | 応募できる例 | 備考 |
|---|------------------------------|---|
| 1 | 日本国籍の他に、もう一つ国籍がある場合 | 採用後に、日本国籍を放棄した時点、又は日本への永住許可が取り消された時点で支援を終了します。留意してください。 |
| 2 | 重国籍等により、留学に必要な査証を申請する必要がない場合 | |

● **〈応募枠〉**

【Q3. 次の場合は、大学取りまとめ応募と個人応募、どちらで応募しますか？】

A3. 次のとおりです。

| | 状況 | 応募枠 | 備考 |
|---|----------------------------------|-----------|--|
| 1 | 日本の大学（院）に在籍中 | 大学取りまとめ応募 | まず、在籍（卒業）大学に、「大学取りまとめ応募」により応募できるか、確認してください。事情により在籍（卒業）大学が取りまとめを行わない場合には、「個人応募」で応募してください。 |
| 2 | 日本の大学（院）を卒業した | 大学取りまとめ応募 | |
| 3 | 日本の高等専門学校専攻科を修了した | 個人応募 | |
| 4 | 海外の大学（院）に在籍中で、日本の大学（院）に所属したことがない | 個人応募 | |
| 5 | 海外の大学（院）を卒業し、日本の大学（院）に所属したことがない | 個人応募 | |

【Q4. 博士課程での応募を希望します。学士課程と修士課程では異なる大学を修了しましたが、取りまとめはどちらの大学に依頼しますか？】

A4. どちらの大学でも構いません。どちらの大学が取りまとめを引き受けてくださるか、大学とよく相談してください。

【Q5. 学んでいる専攻について、第1希望の留学先大学では「自然科学分野」に、第2希望の留学先大学では「人文・社会科学分野」に区分されていますが、願書の「審査分野」はどのように申請しますか？】

A5. 自然科学分野と人文・社会科学分野では審査委員が異なります。審査を希望する分野をいずれか選択してください。なお、第1希望と第2希望で、異なる分野の委員に審査を依頼することはできませんので留意してください。

● 〈学歴・職歴〉

【Q6. 現在、企業に雇用されています。在職証明書の提出は必要ですか？】

A6. 不要です。在職証明書は、応募書類として求めています。

【Q7. 次の場合は応募できますか？】

A7. 応募できます。

| | 応募できる例 | 備考 |
|---|------------------------------------|---|
| 1 | 現在就職している場合 | 応募時に企業等に雇用されていても応募できます。 ※ただし、就業中の場合は、支援期間が開始する前に退職する必要があります。支援開始手続き時に「退職証明書」を提出することにより、退職していることを確認します。 ※正社員として勤務し、留学期間中にその企業等の契約社員等に身分を変更する場合や休職する場合は、「退職した」と見なせないため、応募対象外です。 |
| 2 | 在学中の日本の大学院を休学し、海外の大学院へ留学する場合 | 学位取得のための正式な教育課程に入学するのであれば、日本の大学院を休学中に留学する場合も、応募できます。 |
| 3 | 国内の高等専門学校専攻科を修了又は支援開始時まで修了見込みの場合 | 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構によって「学士」の学位を授与されている者、又は同機構に「学士」の学位の授与を申請予定の者等は応募できます。 |
| 4 | 海外の大学において学士の学位を取得又は支援開始時まで取得見込みの場合 | 海外の高等教育機関において日本の「学士」以上に相当する学位を取得し、「学校教育法」施行規則第155条第1項第2号等に基づく日本の大学院への入学資格を持つ者又は見込み者は応募できます。 |

| | 応募できる例 | 備考 |
|---|--|--|
| 5 | 学士課程で飛び級をする等、「学士」の学位を取得していないが、修士の学位を取得又は支援開始時までに取得見込みの場合 | 本制度では「学士」以上の学位を取得又は支援開始時までに取得予定である場合は応募できます。 |
| 6 | 現在留学中で、2年制の修士課程1年目に在籍し、修士課程2年目の支援を希望する場合 | 標準修業年限内であれば、留学途中からの支援であっても応募できます。 ただし、書面審査と面接審査は、日本から新たに留学する応募者と同様の審査を行い、採用された場合は採用年度（4月～翌年3月）において新たに始まる学年の授業開始日から支援します。学年の区別が明確でない場合は、当該課程での学修・研究活動開始日を起点として12か月を1学年と見なします。 例）2020年9月から留学している場合の支援開始月は、2021年9月です。 |

※3・4・5において、支援開始時までに「学士」以上の学位の取得が確認できない場合は、採用を取り消します。

【Q8. 次の場合は応募できますか？】

A8. 応募できません。

| | 応募できない例 | 備考 |
|---|--|---|
| 1 | 学士の学位取得後、修士課程への出願に必要なHonors Degreeコースでの在籍期間中の支援を希望する場合 | Honors Degree（優等学位）を取得するための追加履修期間は応募対象外です。 |
| 2 | 標準修業年限が3年の課程に現在留学中であるが、3年で学位が取得できず、6年の在学年限内での学位取得に向け、継続して第4学年から支援を希望する場合 | 本制度では標準修業年限（学位を取得するために留学先大学が定める最短期間）を超えて支援することはできませんので、応募対象外です。 ※標準修業年限≠在学年限 |

● 〈推薦状〉

- ・推薦状は、応募時の状況に関わらず、2名の推薦者が必要です。例外はありません。

| 現在の状況 | 推薦者の条件 |
|-----------------------|---|
| (日本又は海外) 大学(院)に在籍中 | ・指導教員等大学教員2名 |
| 大学(院)に在籍してい ない | ①指導教員等大学教員2名 又は ②指導教員等大学教員1名+大学教員以外1名 |

※指導教員等大学教員：在籍（又は卒業）大学の指導教員等、昔の指導教員、学会で知り合った他大学の教員、海外の大学の教員等を指します。既に大学を退職している方でも構いません。

※大学教員以外：応募者の専門分野について、学識経験者と言えるほどの十分な知識と高い見識を持ち、応募者の研究への姿勢をよく知っている方を指します。職場の上司でも構いません。

● 〈成績評価係数〉

- ・成績証明書は、学部以降の成績について、応募時に判明している分を全て提出します。
- ・成績評価係数の算出対象は、「大学学部以降の直近（大学学部卒業見込み者又は修士課程修了見込み者は応募時の在籍課程）」の学業成績です。

| | 応募時の状況 | 提出する成績証明書 | 成績評価係数の算出対象 |
|---|--|---|--------------------------------------|
| 1 | 学部4年生 | 学部1年次～4年次の学業成績（4年次は成績評価が判明している分まで） | 学部1年次～4年次の学業成績（4年次は成績評価が判明している分まで） |
| 2 | 修士1年生で、途中まで修士課程の成績評価が判明している | 学士課程での学業成績＋修士1年次の学業成績（成績評価が判明している分まで） | 修士1年次の学業成績（成績評価が判明している分まで） |
| 3 | 修士1年生で、修士課程の成績評価がまだ判明していない ※成績評価が判明している直近の課程は学士課程 | 学士課程での学業成績 | 学士課程での学業成績 |
| 4 | 修士2年生 | 学士課程での学業成績＋修士1年次～2年次の学業成績（2年次は既に成績評価が出ている分まで） | 修士1年次～2年次の学業成績（2年次は既に成績評価が判明している分まで） |
| 5 | 修士課程修了者で、応募時点で社会人の場合 ※成績評価が判明している直近の課程は修士課程 | 学士課程での学業成績＋修士課程の学業成績 | 修士課程の学業成績 |

| | 応募時の状況 | 提出する成績証明書 | 成績評価係数の算出対象 |
|----|--|---|--|
| 6 | 2つの修士課程を修了した博士1年生で、博士課程の成績はまだ判明していない ※成績評価が判明している直近の課程は修士課程 | 学士課程での学業成績＋ 2つの修士課程それぞれの学業成績 | 直近で（＝後から）修了した修士課程の学業成績 |
| 7 | ダブルディグリー・プログラムで2つの修士号を同時期に取得した博士1年生で、博士課程の成績はまだ判明していない ※成績評価が判明している直近の課程は修士課程 | 学士課程での学業成績＋ 2つの修士課程それぞれの学業成績 | どちらの修士課程の学業成績でも可 |
| 8 | 博士1年生で、博士課程の成績評価はまだ判明していない ※成績評価が判明している直近の課程は修士課程 | 学士課程での学業成績＋ 修士課程の学業成績 | 修士課程での学業成績 |
| 9 | 学士課程終了後、修士課程中退（修士課程の途中まで成績が判明している） | 学士課程での学業成績＋ 修士課程の学業成績（成績が判明している分まで） | 修士課程での学業成績（成績が判明している分まで） |
| 10 | A大学中退、B大学に編入して、B大学で学士号取得した社会人 | B大学（学士課程）の学業成績 ※A大学の学業成績（単位）がB大学の成績に反映されていない場合は、A大学（学士課程）の学業成績も提出が必要 | B大学（学士課程）の学業成績 ※A大学の学業成績（単位）がB大学の学業成績に反映されているかどうかにかかわらず、B大学のみで算出する。 |
| 11 | 学士課程終了後、コミュニティカレッジを修了した修士1年生で、修士課程の成績はまだ判明していない | 学士課程での学業成績 | 学士課程での学業成績 ※コミュニティカレッジでは学士以上の学位が取得できないため、成績評価がある直近の課程は学士課程と見なす。 |

【Q9. 新型コロナウイルス感染症の影響とは関係なく、もともと直近の課程の学業成績の評価が認定単位（Pass/Fail 等）のみの場合、どのように成績評価係数を算出すれば良いですか？】

A9. PASSは、評価ポイント2.7として計算してください。計算方法は、新型コロナウイルス感染症に係る配慮（「募集要項」別紙3「2. 成績要件」）と同じです。

【Q10. 成績評価が「募集要項」に記載されている評価パターンのいずれにも合致しない場合、どのように成績評価係数を算出すれば良いですか？】

A10. 合理的根拠を示しつつ、最も妥当と判断できるパターンに当てはめて、成績評価係数を算出してください。なお、この場合には、別紙として成績評価係数の算出方法とその根拠を記した書類を必ず提出してください。算出方法とその根拠が記入されていない場合には、成績評価係数2.7以上であると認められませんので、留意してください。

【Q11. 成績評価係数は、成績表と学業成績証明書のどちらを基に算出すべきでしょうか？】

A11. 学業成績証明書で算出してください。

【Q12. 成績評価係数が、基準の2.7に達しない場合でも「特別な事情がある」と認められるのは、どのようなときですか？】

A12. 例えば、海外の大学において、日本とは成績評価の方法が異なる場合などが考えられます。しかし、どのような場合でも、「特別な事情により成績評価係数が2.7以上に相当する」ということが客観的に証明できる根拠書類と応募者の説明が必要です。これらの書類により、妥当性が認められない場合は、不合格となります。

3-2. 【様式2：留学先大学情報】

【記入例】

WEBに直接入力した後の提出確認メッセージに添付される願書のイメージ

| | |
|--------|-------------|
| 選考管理番号 | 12345678910 |
|--------|-------------|

| | | | |
|----|----|----|------|
| 氏名 | 機構 | 花子 | 自然科学 |
|----|----|----|------|

様式2-1 留学先大学情報

【第1希望】留学先大学情報

| | | | | | | | | | | | |
|-----------------|---|-------------------------|------------|----|------|------|---|---|---|----|---|
| 留学先大学名 | 1. JASSO University, 2. Teleport University | | | | | | | | | | |
| 研究科名称 | 1. Department of Computer Science, 2. St. Maria's College | | | | | | | | | | |
| 国際共同学位プログラムか | 外国の大学間での国際共同プログラム | プログラム共同実施大学名 (日本の大学) | | | | | | | | | |
| 所在地 | 601 | オーストラリア | | | | | | | | | |
| 取得予定学位名 | 博士 | PhD in Engineering | 別添 | 1 | | | | | | | |
| 研究テーマ | 介護補助を目的としたウェアラブルロボットシステムの開発 | | | | | | | | | | |
| 応募時の状況 | 入学前(教員とコンタクト中又は受入内諾あり) | | | 別添 | 2 | | | | | | |
| 学位取得にかかる最短年数 | 4 | 年 | 9 | か月 | 別添 3 | | | | | | |
| 留学期間(授業開始～) | 2022 | 年 | 1 | 月 | ～ | 2026 | 年 | 9 | 月 | 別添 | 4 |
| 支援開始年月 | 2022 | 年 | 1 | 月 | 別添 4 | | | | | | |
| 支援期間 | 1 | 学年より | 3年(36か月)以内 | | | | | | | | |
| 留学先大学における主な使用言語 | 英語 | | | | | | | | | | |
| 入学における語学要件の指定あり | IELTS (Academic Module) | | | 別添 | 5 | | | | | | |

| | 総合点 | 読む | 書く | 聴く | 話す |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 大学の要件 | 7.5 | 7.5 | 7.5 | 7.5 | 7.5 |
| 応募者の点数 | 7.5 | 8.0 | 7.0 | 7.5 | 8.0 |

| | | |
|----------------------------|----|---|
| 条件付き入学許可制度あり(ホームページ等に記載あり) | 別添 | 6 |
|----------------------------|----|---|

| | | |
|----------|----|---|
| 留学先大学の概要 | 別添 | 7 |
|----------|----|---|

●×▲・・・

| | |
|-----|---|
| URL | 1. http://www.jasso-u.edu , 2. http://www.telport-univ.edu |
|-----|---|

【別添資料の作成】

- 留学先大学のホームページ等の資料の右上には、次のことを記入してください。
 - イ) 資料番号（例：様式2-1）
 - ロ) 応募者氏名
 - ハ) 様式2-1等に記入する「（別添△）」と該当項目名（例：別添1：学位取得期間）
 - ニ) 留学先大学名

- 該当箇所が分かるように、該当部分にマーカーや下線を引く（必ず色付けする）等、分かりやすく明示し、該当箇所付近に和訳を記入してください。

【補足説明とQ&A】**● <留学先大学について>****【Q13. 応募できる大学は指定されていますか？】**

A13. 特にありません。

【Q14. 「留学先大学での取得予定学位が、取得済み学位と同分野かつ同レベルでない」とはどのような意味ですか？】

A14. 例えば、既に経済学修士の学位を取得済み又は取得見込みの応募者が、留学先大学において、同じ修士課程で同じ分野である経済学修士の学位を取得しようとする場合を指します。この場合は、本制度に応募できません。もし、支援を希望する学位と同じレベルの学位を取得済み又は取得予定で、分野が極めて近い場合には、これまで学修・研究してきた分野と全く同じではないことを別紙（様式任意）で説明してください。

【Q15. 留学先大学又は指導を依頼する予定の教員と連絡を取り始めたばかりで、入学許可書や受入内諾書は取得していません。この場合はどうすれば良いですか？】

A15. 入学許可書や受入受諾書がない場合でも応募できますが、準じるものがある場合は提出してください。例えば、留学先大学や指導を依頼する予定の教員とのコンタクト状況が分かるもの（メール可）を添付してください。また、まだ正式な受入内諾書を受け取っていない場合でも、指導を依頼する予定の教員が受入の内諾を示している場合は、それが分かるメールを根拠書類として添付してください。

【Q16. 既に留学中の場合であっても、入学許可書の写しを提出する必要がありますか？】

A16. 既に留学中の課程で支援を希望する場合は、入学許可書の代わりに「在籍証明書の写し」を提出しても構いません。

【Q17. 次の場合は応募できますか？】

A17. 応募できます。

| | 応募できる例 | 備考 |
|---|---|---|
| 1 | すでに取得済みの修士号又は取得見込みの修士号とは異なる、別の分野の修士課程に進学する場合 | 同じレベル（修士）の学位取得を目指す場合であっても、異なる分野を学修・研究する場合は応募できます。 ※取得済み（見込み）学位における専攻分野と、支援希望の専攻分野が異なることが明確な場合は、別紙での説明は不要です。 |
| 2 | 日本の大学とのダブルディグリー・プログラムやジョイントディグリー・プログラムにより留学する場合 | 支援対象期間は海外での留学期間のみです。海外での留学期間が終了し、日本の大学に復学した後に学位を取得する場合は、「募集要項」の「5. 資格要件」（2）の「留学期間終了後」は「学位取得後」に読み替えてください。 ※授業料について、支援対象者自身が留学先大学へ納入する場合は支援の対象になりますが、日本の在籍大学へ納入する場合は支援の対象になりません。 |
| 3 | 海外の複数の大学（A大学とB大学）が協同して実施するダブルディグリー・プログラムにより留学を希望する場合（ただし、B大学での学修が許可されるかどうかは応募時には不明であるが、B大学又は他の選択肢であるC大学のいずれかに在籍しなければならないことが留学先のHPに記載されている。） | 次の要件を全て満たすものは、ダブルディグリー・プログラムとして応募できます。要件に該当することが分かる資料を和訳とともに提出してください。 ※応募書類には、一つの欄に2つの大学の情報を記入します。 ①個人でアレンジしたプログラムではなく、海外の大学同士が協同で実施するプログラムであること ②それぞれの大学が、単独でも、修士号又は博士号（希望する学位）の授与が可能であること ③B大学について、応募時に必ずB大学に行くことが決まっている場合（A大学とB大学での学修が切り離せないコースになっている） 又は 自分が行きたい大学はB大学であるが、入学後にB大学又はC大学のいずれかに在籍することが制度上選択できる（入学後にどちらに在籍するか決まる）と留学先大学のHP等に記載されていることが応募時に確認できる場合（必ずB大学又はC大学に在籍する） ※この場合でも、応募書類はA大学とB大学の内容を記入します。 又は |

| | 応募できる例 | 備考 |
|---|--|---|
| | | 自分が行きたい大学はB大学であるが、応募時にはB大学かC大学かどちらに在籍するか不明であり、試験に落ちればB大学にもC大学にもいけず、A大学に在籍したまま卒業する可能性がある。しかし、支援開始時までには、B大学に在籍できるかどうか必ず判明する場合 ※この場合でも、応募書類はA大学とB大学の内容を記入します。 |
| 4 | まだ出願していないため、入学許可書がなく、教員との連絡もまだ取っていない場合 | 応募時に何らかの結果が既に出ている場合は入学許可書（（受入）内諾書でも可。）を提出しますが、応募時の入学許可書の提出は必須ではありませんので応募できます。 ※支援期間開始時までには、「条件付」ではない正式な入学許可書が必要です。 |

【Q18. 次の場合は応募できますか？】

A18. 応募できません。

| | 応募できない例 | 備考 |
|---|---|---|
| 1 | 芸術の実技分野（美術、音楽、舞踊、演劇、舞台美術等、映画、メディア芸術）を希望する場合 | 文化庁実施の「新進芸術家海外研修制度」で支援対象となる分野になりますので、本制度では審査の対象外です。詳しくは文化庁ホームページで確認してください。 http://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/shinshin/kenshu/ |

● <支援期間について>

【Q19. 次の場合は応募できますか？】

A19. 応募できます。

| | 応募できる例 | 備考 |
|---|-------------------------------------|--|
| 1 | 2年半で学位取得をする修士課程1学年目に進学する場合 | ただし、支援期間は最長2年（24か月）です。なお、支援期間開始時に既に留学先大学1学年目に在籍している場合には、第2学年進級時から支援します。 |
| 2 | 学位取得までに最短で5年かかる博士課程に1学年目から留学する予定の場合 | 本制度では標準修業年限（学位を取得するために留学先大学が定める最短期間）を支援しますが、1回の採用における最長支援期間は3年（36か月）です。1回の採用で3年を超える期間を支援することはできません。継続して支援を希望する場合には、支援期間中に再度応募してください。 |

【Q20. 次の場合は応募できますか？】

A20. 応募できません。

| | 応募できない例 | 備考 |
|---|--------------------------------------|-------------------------|
| 1 | 学位取得の最短期間が3年の博士課程で、4年目・5年目の支援を希望する場合 | 標準修業年限を超えているので、応募対象外です。 |

【Q21. 次の場合の支援期間は何年ですか？】

A21. 次のとおりです。

| | 状況 | 年数 |
|---|--|--|
| 1 | 博士課程の最短の修業年限は3年だが、一般的には4～5年要する場合 | 支援期間年数は3年です。 |
| 2 | 留学先大学の博士課程は標準で3年間だが、その後最長1年間は論文執筆期間として一般的に認められ、指導教員の指導を受ける場合 | 支援期間年数は3年です。標準修業年限を超える論文執筆期間は支援できません。 ※例えば、英国の大学院で標準修業年限後に設けられているwriting up period（論文執筆期間）は支援対象外です。 |
| 3 | 修士課程の最短の学位取得期間が25か月の場合 例) 2021年9月～2023年9月 | 最短期間であっても、修士課程で支援可能な最長期間は2年（24か月）です。例の場合、2021年9月～2023年8月が支援対象期間です。 |

● <語学要件>

- 海外の大学を卒業した場合や、留学先大学で語学能力試験の点数（レベル）の提出が求められていない場合でも、「募集要項」で定める2年以内の語学能力試験の結果を提出することが必要です。
→例えば、留学先大学において「入学前に語学講座を受講することを条件として語学能力試験の点数（レベル）の提出を求めない」、「大学等での教授言語が英語である場合は英語能力試験の点数（レベル）を求めない」という場合でも、「募集要項」で定める語学能力基準を満たすことを、語学能力試験の点数（レベル）により証明する必要があります。
- 留学先大学の主たる使用言語が英語以外の場合、「ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）C1レベル」以上であることを、各語学能力試験の点数（レベル）との対照表を用いることで証明します。
→フランス語やドイツ語、スペイン語、イタリア語、ロシア語等と同様に、中国語や韓国語の語学能力試験等、対照表が公表されているものがあります。これにより、「ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）C1レベル」であることが証明できます。

例) フランス語はDALF C1、ドイツ語はGOETHE-ZERTIFIKAT C1、スペイン語はDELE C1、

イタリア語はCILS C1、ロシア語はロシア語能力検定試験第3レベル、中国語は漢語水平考試（HSK）5級、韓国語は韓国語能力試験5級が「ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）C1レベル」に相当します。他の語学能力試験の場合、受験するそれぞれの語学能力試験の実施団体に、CEFRとの対照表について問い合わせてください。

- 語学能力試験証明書（写し）について、オンライン上に表示された成績のスクリーンショットでの提出は受け付けません。
- 公式スコアを語学能力試験の実施団体から各機関宛に発行できる制度がある場合でも、直接受付センターに宛てて発行するのではなく、必ず応募者が、語学能力試験受験者用に発行された公式証明書の写しを学位応募システムから提出してください。
- 留学先大学の主たる使用言語が英語の場合、「募集要項」で定めたTOEFL iBT、IELTS（Academic Module）以外の試験結果は受け付けません。TOEFLの場合、「My Best™ scores」（又は、それに準じるもの）の点数（レベル）ではなく、Test Dateスコアで確認します。

【Q22. 新型コロナウイルス感染症の影響により、期間限定で特別に実施される「IELTS Indicator」や「TOEFL iBT® Special Home Edition」の結果は、受け付けられますか？】

A22. 「IELTS Indicator」や「TOEFL iBT® Special Home Edition」であれば、受け付けます。

【Q23. 新型コロナウイルス感染症の影響により、受験予定であった語学能力試験の実施が延期され、応募締め切り時に間に合いません。どうすれば良いですか？】

A23. 応募締め切り時までには結果が提出できる他の語学能力試験がある場合は、それを受験してください。

もし、応募締め切り時に間に合う語学能力試験がない場合は、直近に実施される語学能力試験を受験し、12月1日（火）までに、受付センターに結果の写しを提出してください。なお、応募時には参考データとして、過去の語学能力試験の結果や語学運用能力証明書（様式イ）を提出してください。詳細は、「募集要項」別紙3「1. 語学要件」を確認してください。

【Q24. 3年前に受験した語学能力試験の点数（レベル）を有しています。この語学能力試験は点数（レベル）の有効期限が特に定められていませんが、応募締切日から過去2年以内に受験した語学能力試験の証明書を提出する必要がありますか？】

A24. 点数（レベル）に有効期限が定められているかどうかに関わらず、過去2年以内の結果が必要です。

※生涯資格については、次のQ&Aを確認してください。

【Q25. 次の場合は応募できますか？】

A25. 以下の条件を満たせば、応募できます。

| | 状況 | 条件 |
|---|--|--|
| 1 | 3年前にDALF C1 (フランス語) を取得したが、生涯資格のDALF は、取得したレベルと同じレベルを再度受験できない | <p>〈応募時に以下の全てを提出してください〉</p> <p>①直近の語学能力試験証明書 (写し)</p> <p>②再受験が認められていないことが記載されている実施団体のホームページの情報 (和訳付き)</p> <p>〈採用後、支援期間開始時まで提出してください〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同一言語の別の語学能力試験を受験し、結果がヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) C1レベル以上であることを証明する語学能力試験証明書 (写し) |
| 2 | 機構が定める語学水準を超え、かつ留学先大学が求める語学能力試験の総合点も超えている。しかし、留学先大学が求める語学能力試験の各技能点において、基準を満たしていない技能 (リスニング等) がある | <p>次のいずれかに該当する場合は、応募できます。該当することを証明する資料を提出してください。</p> <p>①応募時に留学先大学に在籍中である</p> <p>②2021年度中の支援開始時まで無条件入学許可を得られる見込みがある</p> <p>※ただし、機構の語学水準を超えていない場合や、留学先大学の求める総合点を超えていない場合は、上述の①又は②の条件に該当しても応募できません。</p> |

3-3. 【様式3：業績等について】

【記入例】

| | | | |
|----|------|----|-----------|
| 氏名 | 機構太郎 | 分野 | 人文・社会科学分野 |
|----|------|----|-----------|

様式3

3. 業績等について

●●●●●

次の点を踏まえて、自由に記述してください

- ① 研究の経歴・発表論文・表彰等の実績・著書等、アピールしたいことの
詳細
- ② ①の関係年月日
- ③ 全体でA4判（レターサイズも可。以下同じ。）1枚にまとめる

※学長（総長）賞や学会における表彰を受賞している等、顕著かつ明確な
実績がある場合、面接審査においても確認する場合があります

- ・ 論文全体の提出は不要です
- ・ 「代表的論文」が共著や共同研究の場合は、共著又は共同研究であることを
明記した上で、応募者自身がどの部分をどのように貢献したか明示したも
のを提出してください
- ・ 学部4年生について、「代表的論文の抜粋」は卒業論文がある場合は卒業論
文の抜粋又は要旨を提出することが望ましいです。卒業論文がない場合
には、その他の論文やレポートを提出してください

※本様式はA4判、1枚におさめてください。（A4判はレターサイズでも可です。以下同様。）
 ※別添で代表的論文の抜粋（A4判、2枚以内）を添付してください。なお、論文執筆言語が日本語以外の
 場合、①執筆言語による代表的論文の抜粋（A4判、2枚以内）及び②和訳、の2点が必要です。

3-4. 【様式4：研究計画及び修了後の進路計画書】

【記入例】

| | | | |
|----|------|----|-----------|
| 氏名 | 機構太郎 | 分野 | 人文・社会科学分野 |
|----|------|----|-----------|

様式4

4. 研究計画及び修了後の進路計画書



次の点を踏まえて、自由に記述してください

- ①本制度による留学志望理由を踏まえた研究計画・留学期間中の研究計画・修了後の進路計画（職業、地位等を含む）について
- ②①を「要約」と「詳細」に分けて記述する
- ③留学先大学が第2希望までである場合は、第2希望についても踏まえた内容にする
- ④全体でA4判1枚にまとめる

*本様式はA4判、1枚におさめてください。(A4判はレターサイズでも可です。)

3-5. 【様式5：日本社会への貢献について】

【記入例】

| | | | |
|----|------|----|-----------|
| 氏名 | 機構太郎 | 分野 | 人文・社会科学分野 |
|----|------|----|-----------|

様式5

5. 日本社会への貢献について



次の点を踏まえて、自由に記述してください

- ① 国費で留学をする意味について
- ② 国費の支援を受けた自身の留学を、どのように日本社会に還元し、国や社会に貢献していくことができるかについて
- ③ 留学先での具体的な日本のPR、留学終了後の留学報告会や留学経験を踏まえた社会貢献活動等の計画について
- ④ ①～③の内容を「要約」と「詳細」に分けて記述する
- ⑤ 全体でA4判1枚にまとめる

*本様式はA4判、1枚におさめてください。(A4判はレターサイズでも可です。)

4. その他Q&A

● <審査について>

【Q26. 応募者の合格率はどのくらいですか？】

A26. 機構のホームページ（以下のURL）にある過去の応募・採用状況を参照してください。

（2020年度応募・採用状況）

<https://www.jasso.go.jp/about/information/press/2020030201.html>

（2019年度応募・採用状況）

<https://www.jasso.go.jp/about/information/press/2019030601.html>

（平成30年度応募・採用状況）

<https://www.jasso.go.jp/about/information/press/daigakuinagakui2018.html>

【Q27. 面接の日程は希望を反映してもらえますか？】

A27. 日程の希望は受け付けていません。

【Q28. オンライン面接の場合、どのような設備を用意すれば良いですか？】

A28. 例えば、パソコンやマイク、スピーカー、WEBカメラです。マイク、WEBカメラは外付けを推奨します。通信環境は、数Mbpsの帯域が必要です。また、使用するデータ量は1GBを超えることが予想されます。なお、オンライン面接を行う部屋は静かで、応募者が一人になれる環境が必要です。詳細は、別途通知します。

【Q29. オンライン面接の機材は誰が準備しますか？】

A29. オンライン面接に必要な通信回線や機材は応募者自身で準備してください。

● <支援内容について>

～詳細や各種手続きは、大学取りまとめ応募は後日取りまとめ大学に、個人応募は後日掲載予定の「派遣学生の手引き」で確認してください。～

【Q30. 奨学金や授業料は毎年同じ金額が支給されますか？必ず250万円が支給されますか？】

A30. 支援期間中の2年目以降の支援について、「募集要項」に記載のある留学状況報告等の内容により、更新の可否が決定されます。また、支給額について、政府予算は会計年度（4月～翌年3月）ごとに変わる可能性があります。

※授業料は実費相当であるため、留学先大学への納付額に応じ、機構からの支給額も変わります。250万円が授業料として必ず支給されるものではありません。その他、該当年度の外国貨幣換算率の変動によっても、支給額が変わります。

【Q31. 授業料の上限額は支援期間中の合計金額ですか？】

A31. 授業料は、年度ごとに合計金額が上限を超えないかどうか確認します。したがって、1人につき、1会計年度（4月～翌3月）内で250万円が支給額の上限になります。

【Q32. 授業料は、機構が留学先大学に直接支払いますか？】

A32. いいえ。留学先大学が発行する授業料の請求書の宛先は派遣学生であり、機構ではありません。

→機構は、留学先大学が発行する請求書等に基づき派遣学生が算出した授業料を、大学取りまとめ応募は取りまとめ大学を通して、個人応募は直接、派遣学生の日本の口座に振り込みます。機構への申請のタイミングや振込スケジュールによっては、派遣学生が立て替えて留学先大学に支払うこともあります。

【Q33. 授業料は留学先国・地域の現地通貨建てで留学先大学に納入しますが、機構からは円貨で支給されますか？】

A33. 授業料も奨学金月額も、いずれも円貨で支給します。

→授業料は、留学先大学が発行する請求書や領収書等の写しに記載された現地通貨建ての金額を、円に換算して支給額を算出します。ただし、当該書類発行日と支払者である派遣学生の氏名が明確に記載されている必要があります。円貨への換算に当たっては、日本政府（財務省）が毎年度告示する「出納官吏事務規程第14条及び第16条に規定する外国貨幣換算率を定める等の件」で定められた換算率を適用しますので、授業料を支給する時点での実勢の為替レートとは異なる場合があります。

【Q34. 「授業料」以外に留学先から請求される諸費用も支援対象となりますか？】

A34. 原則として授業料（tuition）のみが支援対象となります。

必須経費であっても、入学金（授業料部分を除く。）、保険料、交通費、食費、寮費、教材費等の経費は支援の対象となりません。留学先大学が発行した請求書等の明細から、機構による支援対象費目を抜き出して授業料申請額を算出します。

【Q35. 支援期間開始前に、大学が指定する語学学校で学ぶことになる場合、その授業料を請求できますか？】

A35. 大学が指定（又は推薦）する語学学校等で学ぶ場合であっても、正式な教育課程に在籍する前の期間は支援の対象外のため、授業料も奨学金月額もいずれも請求できません。

【Q36. 授業料の免除を受けた場合や研究室等が派遣学生に代わって授業料を納付する場合、又は併給する他の奨学金等支給団体から授業料の支援を受けた場合にも、授業料を機構に請求することができますか？】

A36. 本制度では、授業料は本人が自己負担した分のみ、日本の会計年度内で250万円を上限とし、支給します。授業料の免除対象額や、他団体からの授業料支援額については、支援対象外です。
※貸与型奨学金や教育ローンを利用して授業料を支払った場合は、授業料を請求することができません。

【Q37. 日本学生支援機構の貸与奨学金との併給は可能ですか？】

A37. 以下について併給を認めています。

①本制度による給付を受けてもなお経済的支援を必要とする方を対象とした無利子の貸与型奨学金「第一種奨学金（海外大学院学位取得型対象）」。貸与を希望する場合は、機構ホームページで申込資格、申込方法、申込先、照会先を確認の上、本制度での採用が決定した後、担当部署にお問合せください。

（機構ホームページ）

奨学金＞申込方法＞海外留学の奨学金＞第一種奨学金（海外大学院学位取得型対象）

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/kaigai/1shu_gakui.html

②機構が実施する有利子の貸与型奨学金「第二種奨学金（海外）」。貸与を希望する場合は、機構ホームページで申込資格、募集日程、申込先、照会先を確認の上、担当部署にお問合せください。本制度に採用されなかった場合にも申し込みます。

（機構ホームページ）

奨学金＞申込方法＞海外留学の奨学金＞第二種奨学金（海外）

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/kaigai/2shu_kaigai/index.html

③機構が実施する国内の第一種奨学金及び国内の第二種奨学金。日本の大学と諸外国の大学との間におけるジョイントディグリー及びダブルディグリー等国際共同学位プログラムにより留学する場合のみ。

【Q38. 奨学金月額単価は、どのように確認できますか？】

A38. 「募集要項」の別紙1や「国・地域コード表」で確認できます。国・地域により金額が異なりますので、留学先の国・地域がどの区分に該当するのかは、自身で確認してください。奨学金月額単価は留学先の国・地域（及び都市）に基づき、支援開始手続き時に通知します。
→指定都市は、指定された都市に大学（所属キャンパス）があるかどうかを住所で確認します。

例）「ワシントン」→ワシントン州ではなく、ワシントンD.C.に所属キャンパスがあり、その地で学修する場合のみ指定都市に該当します。

【Q39. 本制度の奨学金や授業料は、修了後に返済が必要ですか？】

A39. 給付型の奨学金・授業料であるため、返済は不要です。

【Q40. 支援期間中にインターンシップやフィールドワークをすることは可能ですか？】

A40. 研究上必要なことであれば、インターンシップやフィールドワークを行う期間も奨学金の支給申請は可能です。留学先大学の所在都市を離れる場合は、後日掲載予定の所定様式と関連書類の提出により機構に承認されることで、奨学金月額が支給されます。

※活動等が日本である場合は支給対象外です。

※留学先大学以外の大学等から請求される授業料は、支給対象外です。

【Q41. 新型コロナウイルス感染症の影響で、予定どおり留学先大学・国に渡航できない場合、奨学金や授業料の受給はどうなりますか？】

A41. 2020年度は特別措置として、日本でオンラインにより授業等を受講する場合も支援の対象としています。2021年度以降の措置については、そのときの状況で決定し別途通知します。

● <採用後について>

～詳細や各種手続きは、大学取りまとめ応募は後日取りまとめ大学に、個人応募は後日掲載予定の「派遣学生の手引き」で確認してください。～

【Q42. 応募書類提出後に、留学先大学を変更することは可能ですか？】

A42. 原則として認めません。ただし、止むを得ない事情であると見なされる場合に限り、再審査を行い、認められる場合があります。

なお、再審査は審査委員に再度審査を依頼することになるため、再審査をせずに済むよう熟考の上、応募するようにしてください。

【Q43. 留学先大学を一時不在する場合でも奨学金は支給されますか？】

A43. 奨学金月額は、支給対象月に留学先大学に在籍し、現地で学修・研究等していることを確認した上で支給します。通常、派遣学生が休暇等により、月初日から月末日までの1か月間全て、留学先大学の所在都市を離れる場合は、当該月の奨学金を支給しません。

【Q44. 支援期間中に留学先大学でTAやRAを行うことは可能ですか？（短期間労働者として、応募要件を満たしていますか？）】

A44. 留学先大学でTAやRAを行い、報酬を受ける場合にも、本制度の支援を受けることは可能です。TA、RA以外にも、留学先国・地域や留学先大学の定める範囲内であれば、短時間労働者として雇用されることは可能です。

※これらの報酬として授業料の減額や免除がある場合、その該当額は支給対象外です。授業料支給後に、減額や免除が判明した場合には、減額や免除額相当分の返納が必要です。

● <次回の募集について>

【Q45. 次の募集はいつ行いますか？今回と同じ要件や支援内容ですか？】

A45. 次回の募集については未定です。詳細は決まり次第、ホームページにてお知らせします。